

伊勢神宮崇敬会だより

みもすそ

特集

神御衣を奉る



お伊勢さんの歳時記

- 1月1日 歳旦祭
- 1月3日 元始祭
- 1月7日 昭和天皇祭遙拝
- 1月10日 大麻暦奉製始祭
- 1月11日 一月十一日御饗
- 1月31日 大祓
- 2月11日 建国記念祭
- 2月17日 祈年祭
- 3月5日 大麻暦頒布終了祭
- 3月20日 春季皇霊祭遙拝
- 3月20日 御園祭

内宮を流れる五十鈴川は、倭姫命が御裳を濯がれたことから「御裳濯川」(みもすがわ)とも雅称されます。題字は本会会長の豊田章一郎による浄書。表紙は、神服織機殿神社での和妙(にぎたえ)奉織。

第81号
平成29年冬

はじめに下機殿、つづいて上機殿で祭典が行われ、うるわしく織り上がった反物が神前に供えられた後、辛櫃に納められて約二〇キロ離れた内宮まで運ばれます。昔この地域の人々は、その日は農作業を休み、心をしずめて見送ったとか。今は車ですが、数十年前までは辛櫃を担いだ地元の奉仕者が参宮街道を夜通し歩き、外宮で仮眠をとってから内宮まで運び入れたそうです。

翌十四日は「神御衣祭」です。内宮と、第一別宮である荒祭宮のみで行われ、両機殿から届けられた和妙と荒妙を天照大御神の御前へお供えます。ほかの祭典のように外宮やその他の宮社では行われない、特別なお祭りです。

神御衣祭では、反物をはじめ御糸や御針も御